

Volume 24
May 2006



JAPAN REGION

目 次
Table of Contents

今期のテーマ	2005—2006 Themes	1
日本リージョン会長挨拶	The President's Message	2
変化するリージョン - 委員会の現状より -	Change of Region	4
カウンスル会長会に出席して	Council President's Meeting	6
クラブ記念例会・式典の案内	Invitation to Club Anniversary Meetings	8
第24期日本リージョン年次大会ご案内	Invitation to the 24th Japan Region Annual Conference	9
日本リージョン大会への派遣員の皆様へ	Notice to Delegate to Region	9
選挙委員会	Election Committee	10
派遣員資格確認委員会	Credentials Committee	10
運営研修会	Management Training	11
プログラムのご案内	Guide to Annual Conference Programs	12
リージョン大会での表彰	Awards	12
大会準備委員会便り	Annual Conference Committees	13
パワートーク I T C	Power Talk ITC	16
インフォメーション	Information	18
編集後記	Message from Editor	裏背表紙
I T C 宣誓及び声明文	ITC Pledge • Mission Statement of Japan Region	裏表紙

I T C 日本リージョン第24期テーマ

2005—2006

Japan Region Theme

変化 そして 飛躍 “Change and Leap”

日本リージョン会長
泉 和子



I T C テーマ

“Lift up your Life . . . and SOAR”
自らを高め、そして飛躍しましょう！

I T C 国際会長
Terrie Baxter



ディビジョンIV副会長
Margaret Sutherland



「変化とMAGMAの結束力」

第24期 I T C 日本リージョン会長 泉 和子

会員の皆様のことをあれこれと考えながら、この原稿をしたためている今は、まさに春爛漫、日本国中があまねく桜花に包み込まれています。この会報の印刷も終わる頃、一変して新緑の芽吹きが目に飛び込んでくることでしょう。

春夏秋冬の季節の変化は、私たち人類、いえ動植物に至るまで、その時々々に気持ちに変化をもたらし、刺激を与え活力を恵んでくれます。どんな時にも、どこでも、誰にでも、環境の変化は大切なものなのです。

変化は必要ですが、何事も良い方向へ変化しなければ何にもなりません。人ならば健康を保ち、その上自分の人格が少しでも大きくなるように、自然ならば動植物や魚や鳥が生き生きと生活するように、世の中が人工的に変化するならば便利な中にも害なく有意義であるようにと、変化を起こすには、全てに、それなりの条件があると思います。

私たちが籍を置く I T C の社会も変化が望まれる事は承知致しますものの、それには間違いない考案と細かな調査と正しい決断を相当の精神力をもって実行することを迫られます。今期のリージョン役員会は、当然、現在の会員に益する、将来共に有効な変化を実施しなければならないということを念頭において、年間テーマ「変化と飛躍」の意義を慎重に考え、会員方が道理と認めて受け入れて下さることを確信した上で、大きなことから小さなことまで、慎重に「変化させること」に挑戦しています。

7月には横浜で「MAGMA—内なる力」をテーマに掲げて、24回目のリージョン大会を開催いたします。全ての生命の始まりである MAGMA の力は、何十億年以上の歳月を経て今日を創造したのです。内に秘めた、想像もつかぬ強靱な力をもって、全ての基礎となるものを作り上げる MAGMA というものに畏敬の念を抱く私は、今この I T C に思いを巡らせる時、会員方の内に秘めた MAGMA の如く強い底力が、この I T C の組織を大切に守り、継続の道を繋いでいるということを認識し、その会員の内から湧きでる力こそ、大切に扱わなくてはならないと考え、今期の大会テーマを「MAGMA—内なる力」と考えたのです。

MAGMA の自然の偉大な力に思いを馳せる時、高円宮妃久子殿下とC.W.ニコル氏から、奇しくも共に地球上の良い環境を守り抜く大切なご講演を伺うことになった今期の大会に、なにか不思議なものを感じ、日本リージョンにこのような機会が与えられたことを、光栄にそして幸せに思っております。

相手を慮ることができる心の扉を広く開き、更に友情を深め、良いコミュニケーションをとるに相応しい言葉を愛し、大いに底力を発揮することができる研修の場として、リージョン大会を存分にお楽しみ頂きたく、紺碧の海を渡る初夏のさわやかな風と共に、港横浜で皆様をお迎えする日がくることを楽しみに致しております。

The President's Message

“Change and Uniting Power of Magma”

The 24th President of Japan Region **Kazuko Izumi**

While I am writing this script thinking about various matters for the members, the whole area of Japan is covered with cherry blossoms and spring is in all its glory. By the time when the printing of this bulletin is finished, this scenery will be completely changed into new green buds.

Changes of four seasons bring changes of attitudes and stimulus and thus bestow us human beings with new energy. These blessings are not limited to human beings but also to all the fauna and flora. Whenever, wherever and whoever it may be, changes of environment are very important.

It is true a change is important but it is only meaningful when the change is for the better. For us human beings, it should maintain our health and enhance our personality to broaden our horizon. For nature, it should contribute to the liveliness of animals, plants, fish and birds. When the world is transformed into artificial makeup, it should be convenient but also without harm and with significance. In order to generate change, there are always certain conditions.

In our ITC community, although we know changes are hoped and wanted, we are required to have unfailing consideration, thorough research and execution of proper decision with strong determination to bring out those changes. As a matter of course, the Region Board this term is bearing in our mind that we should bring out effective changes for the present and future members as well. We are making challenges to carefully “change” matters of great importance and also smaller matters thinking about the significance of our theme “Change and Leap” with a conviction that members will accept those changes as reasonable.

In July, we are going to hold the 24th Japan Region Annual Conference in Yokohama under the theme, “MAGMA - the Power Within Us”. The power of MAGMA is the beginning of all the creatures and it has created today by the accumulation of more than billions of years. MAGMA has unimaginable and unyielding inner power and creates the basis for everything. For me, MAGMA is awe-inspiring. In thinking about ITC, I have realized unlimited inner power of members just like MAGMA is carefully protecting ITC organization and connecting the road of continuity. This power within us is something that we have to value most and I have decided the theme of this conference to be “MAGMA - the Power Within Us”.

Her Imperial Highness Princess Takamado and Mr. C.W Nicole both are going to present us with important lectures on preservation of better environment on earth. This was a very happy coincidence. As I was thinking about the great power of MAGMA and nature, I felt some strange ties. I feel extremely honored and happy for Japan Region to be given such precious opportunities.

I hope you will be able to open your mind thinking about others, deepen your friendship, love words for better communication, display your power within in training scenes, and thus fully enjoy the Region Conference. I am looking forward to welcoming all of you in Yokohama together with fresh winds of early summer from the deep-blue ocean.

変化するリージョン

— 委員会の現状より —

▮ 国際の現状は ———

世界中に多くの会員を抱える ITC は、近年どんな逆境にも決して負けてはいません。会員の教育に遅れをとってはならじと Power Talk ITC を開発し、古い教育資料を見直し、Master Manual を作り変え、経費の節約にと国際出席役員会議を Cyber 会議に切り換え、時代に添ってウェブサイトを拡充し、ITC の先頭に立って変革を進めています。

▮ 日本リージョンの現状は ———

今期のリージョン役員会は期の始めから、今までのリージョンメールを毎月の「日本リージョン役員会便り」に切り替え、FtB と同時に会員に届けることによって情報網を増やし、360度のコミュニケーションを保つ努力をしています。社会的な影響による「個人情報保護法案の規定」などという目に見えない部分の実行や今までに無かった冊子形パンフレットの作成と言う変化も、少し目新しいものではないかと思えます。又、「クラブ継続年数や会員在籍年数の数え方」や「クラブ会計への説明会実施」など組織全体に関わる重要な事柄の規定設定などにも手をつけたことは、今期の大きな変化です。Power Talk ITC の普及にも、ITC との約束どおり、着実にその進行方向に道をつけた積りです。リージョンの集大成である7月の横浜での大会は、今度はその形態をかなり変化させ、会員の現在のニーズの在り方を探ってみます。ご期待ください。

リージョンでは、6名の役員と4名の任命役員、そして19部署の委員会がそれぞれの活動を行っておりますが、その中から、現在の活動のほんの1部をご紹介します。

▮ リージョンCLOは ——— 今期より任命役員です。

今期は国際レベルの ICLO も非常に熱心で、絶えずリージョン内の360度コミュニケーションは大丈夫かとお尋ねがあり、時々アンケート調査があります。日本の場合、国際からの伝達物を翻訳し終えてから会員に配布しなければならない処に時間的にも技術的にも難しい処があると答えました。この度のアンケート調査で、オランダやアイスランド、メキシコにも翻訳の悩みがあると言うことを知ることが出来たと同時に、世界中の CLO は色々な工夫をして会員をひきつけ、又 CLO 自身も、その立場を国際とクラブの掛け橋になれると言う喜びを持って、楽しんでいるようでした。

▮ リージョン書記 ——— カウンシル書記から寄せられた感想や質問の抜粋より—

- ・議事録作成は、記載範囲を考慮したり、言葉の選択に苦慮しながらも勉強の連続で、組織の中で書記が果たす重要性を感じ、責任を持って職務を果たしています。
- ・「議事録案」と「議事録写し」は、違いますね？

承認前の議事録は(案)として派遣員に送付されます。本会議でカウンシルへの派遣員が承認して初めて正式の議事録となり、正式の議事録はただ一つで、それは書記により保管され、他に幾つ同じ議事録があっても、それらは「写し」と記されます。「Copy」でも構いません。

- ・議事録の訂正記載の正しい書き方を教えて下さい。

訂正は一本線で消し、下欄に正しい語句または文章を書き、左余白に訂正日付とイニシャルを入れ、○字削除、○字挿入などと書き入れます。

- ・指名委員選挙の結果報告を議事録に記載する時、どのように書くのですか？

上位3名のみを指名を記録するのではなく、読み上げられたとおり、全ての氏名とその票数を記載しておきます。数えられたり、読み上げられたりした以上、数字は全て正確に記載されなければなりません。

／／ 広報委員会 ——

各カウンスルから「外部での広報活動」の報告を下記のように受けました。

- ① 地域のフェスティバルに2クラブ合同で参加し「ITCへのお誘い」スピーチを行なった。
- ② 例会会場とした「女性教育センター」のフェスティバルで写真を展示し、クラブのホームページを紹介し、クラブの認知度を高めた。
- ③ 朗読同好会が市民会館で朗読会を行い、リージョンリーフレットを配布しITCをP.R.した。
- ④ 市登録の「女性各種団体55団体」の総会に出席し、ITCをP.R.する。
- ⑤ 小・中学生のスピーチコンテストを開催し、ケーブルテレビで放映された。生徒や家族の友人など、幅広いゲストの出席があった。
- ⑥ 大学のゼミで「上手な話し方」についてワークショップを行なった。
- ⑦ 大学院生、教授の参加も得て「裁判員制度」についての模擬裁判を2クラブ合同で行なった。
- ⑧ 地方裁判所裁判官による出張講座「裁判員制度」を2クラブ合同で開催した。
- ⑨ F.M.放送局に出演し、ITCをP.R.する。
- ⑩ クラブ主催で「パキスタン地震チャリティーマーケット」を開催、収益金74,880円を送金した。
- ⑪ 特別例会には会員各自が広報の自覚を持って多くのゲストを誘い、TV放送や地元新聞にも掲載された。
- ⑫ クラブ例会への案内を新聞社やタウン誌に掲載した。

これらの報告から、各カウンスルが色々な工夫をして広報活動や会員増強に努めていることを知り、嬉しく思いました。

／／ 会員委員会 ——

報告書から、どのカウンスルもチャンスを捕まえてはクラブを訪問する計画をたて、クラブの状況を把握することに努めている事を知りました。

その結果、会員増強の為には、ゲストを自クラブだけではなく近隣クラブにも紹介し、又2度目の出席を促すフォローが入会へ繋がるとし、「会員増強特別委員会」を設けたクラブは着実に入会に結び付け、かつ会員一人にゲスト一人の実行も会員増強に大きく効を奏したというそれぞれの報告とその実績を見て、なるほどとうなずけるものがありました。又、高齢化、介護、仕事によってクラブ活動が阻まれていることはご多聞に漏れずのことですが、ITCでの活動が会員に負担にならないように時代に添った変化を取り入れ、それでいて組織に籍を置くことの利点を会員が認識しなければいけないということを、継続会員の状況報告から読み取りました。

……カウンスル会長会に出席して……

2006年3月20日 於：日本リージョン事務局

カウンスル No.1 会長 田嶋 邦子

やっと開催された会長会！ 参加してよかった！の一言です。泉リージョン会長のご挨拶で始まった会長会、最初は参加者の表情は緊張気味でしたが、議題が進むにつれて意見交換で盛り上がり、持ち時間オーバー！もあり、他カウンスルの様子を伺うことができました。その中で、泉会長からのご助言を受けたり、質問をしたりと午前中の2時間がアットという間に過ぎ、午後からは緊張も解れたようでした。お急ぎの方もあったのですが、予定を変更し最後まで参加された事は、この会長会がいかに有意義であったかを物語っていると思います。会長会がもう少し早く（1月頃）開催されていたらもっと良かったと、残念に思いました。泉リージョン会長や他カウンスル会長が、I T Cに注いでいらっしゃる情熱に感動し、事務局を後にしました。



カウンスル No.2 会長 森 照子

この日を心待ちにしておりました。お忙しい泉日本リージョン会長から提案戴き、殆どのカウンスル会長は喜んで出席なさったようでした。リラックスして会は始まり、やはり最初は各カウンスルの現状報告を致しました。

今まで、各カウンスル会長と意見を交わす機会がなかっただけに、報告を聞きながら、質問をしたり意見を述べあったり、I T Cに対する考え方、理解、思い等人それぞれの違い、幅を知る機会を持って本当に良い勉強になりました。そんな中、泉リージョン会長よりトップの方の組織運営の大変さもほんの少し教えていただき、I T Cをどのように捕らえ、理解し実行に移すか、組織が大きくなればなるほど柔軟性を要求される事を感じました。それと同時にI T Cは思っていたより全てを受け止める度量の大きさを何時の間にか持ってしまった、そんな思いを持ちました。具体的には無所属クラブの松山クラブ、重複会員の多いクリスタル神戸クラブなど、組織の中に特殊な存在が市民権を得ているということはとても健康的なことで、正に柔軟性のある、又自分の意見、考えをしっかりとったトップがいるという事で、I T Cの将来も頼もしいと受け止めました。そして私達もお互い何とかI T Cをより高め、豊かに活発に前進していきたいそんな思いを確認し合い、楽しくしゃべりあった貴重な時間でした。素敵なお機会を作っていただいたことを改めて感謝いたします。

カウンスル No.3 会長 鈴江 恵

この日の朝、いつもより緊張し、予定時刻の30分も早く会場であるリージョン事務局に到着しました。既にもう泉リージョン会長とお二人のカウンスル会長が到着しておられ、皆様の意気込みを伺い知る思いがしました。初めて訪ねる事務局は、マンションの一室で意外なほどこじんまりとしていました。柔らかな初春の陽が注ぎ込むアットホームな雰囲気の中で、泉会長の暖かなおもてなしに張り詰めていた緊張の糸も一気に解れて参りました。泉会長、6人のカウンスル会長、計7人で会議は行われ、午前は約2時間30分、昼食をはさんで、午後からは3時間の会長会議は時間の経つのも忘れ、アットという間に終了のときを迎えました。夫々のカウンスルの問題点を話し合い、活発な意見を出し合い、今まで遠い存在だった他のカウンスルを身近に感じることができ、実り多いとても有意義な会長会議でした。

カウンスル No.4 近本 節子

早春の風が少し肌寒さを感じさせる日、日本リージョン事務局で開かれた日本リージョン会長主催のカウンスル会長会議へ出席いたしました。2年前3名の会計監査委員と事務局を訪れた事があります。その時は事務局が解らなく3人が迷子になり人にお聞きしてたどり着いた苦い思い出があります。今日は一人。でも無事に早目に到着しました。知り合いの少ない私は緊張しておりましたが、自己紹介をしていくうちに緊張もゆるみ楽しい雰囲気になりました。会議は泉会長の準備されたアジェンダ通りに進められていきました。(アジェンダは十進法になっておりました)会長の挨拶に続き各カウンスル会長の自己紹介と自分のカウンスルの特徴、実務実行の発表です。どこのカウンスル会長もカウンスル自慢、悩みを話し合いとても盛り上がりました。どこも同じ悩み(高齢化、増員、定着、指名委員会の難しさ)を持っておりました。他カウンスルの素晴らしいプログラム、趣向を凝らしたオリエンテーションの企画の発表と、とても勉強になりました。カウンスル会長をさせて頂いた事でこんなに素晴らしい体験ができ、感謝しております。今期、泉会長に木目細かく指導して頂き感謝しています。2回、3回と続けて開催して下さる事を希望します。学ぶ機会を得た事を感謝しつつ。。。。。

カウンスル No.5 会長 稲次 美子

毎年秋に開催されておりましたリージョン主催のCMTが実施されなかったこともあり、今回のこの会長会に出席することを大変心待ちにしておりました。泉会長はじめ6カウンスルの会長との6時間は、あっという間に過ぎ、又大変フレンドリーな雰囲気の中、それぞれの意見を出し合い、実りある会でありました。特に印象に残りましたことを記載したいと思います。

1. 組織に入って勉強することの大切さ — ITCの活動をしていく上で、手順を正しく踏んで組織を重んじることで、コミュニケーションが成立する。又、国際役員として、2年間お役を務められた泉会長の経験談は、大変説得力がありました。
2. リーダーを務める上での重要点 — 責任感があり、勤勉さと、もちろんリーダーシップがなければいけない。それにカリスマ的なところも必要である。
3. アジェンダ作成は、出来るだけ詳細に書く — 書記が一読すれば議事録を書けるようなものとする。番号は十進法を使う。
4. クラブ会計の重要性 — 早速7月のリージョン大会での研修を予定されております。



「役目は、人を大きくする」という言葉がありますが、今期カウンスル会長を務めさせていただきましたこと、又、泉リージョン会長の下で勉強させていただきましたことは、幸運なことであり、是非次期のカウンスル、クラブの会長にCMTで伝えなければと思っております。

カウンスル No.6 会長 西阪 宣枝 「心豊かな一日」

春まだ浅い3月20日、日本リージョン事務局に於いてITC日本リージョン会長主催の「会長会議」が開催された。出席希望のカウンスル会長全員が出席可能な日程をと、超多忙の泉会長自らが時間を掛けて苦労して決定して下さり、前日に送られてきたアジェンダには、会場への公共の乗り物から可能な限りの丁寧な案内文が添付されていた。泉会長の暖かい心が伝わり、ちょっと緊張、でもワクワクしながら出席した。リージョン会長から特に会計や指名委員会の重要性、リージョン役員会便りの扱い、会則や会員増強等々について、そして各カウンスル会長からは、実務実行の現状や質問等の情報は多岐にわたり参考にする事また、知らなかった事も多く、今後の活動に必ず取り入れなくては・・・と痛切に思った。今、情報はITにより瞬時に得られるがそれとは違った、会長のゆきとどいた準備と暖かい雰囲気の中で親しく自由に発言しながら質の高い学びと深い交流を得た。常々願っている暖かい対話によるコミュニケーションができ本当に心豊かな一日でした。

カウンスル No.7 会長 廣田 富子

県・市等の会議出席で日程の調整がつかず交流会にやむなく欠席しました。できうればITによる会長会議等を望みます。

カウンスル No.8 会長 澤登 芙蓉

会長会、今回は参加できず残念でしたが、『みなとみらい21』でお会いできるのを楽しみにしております。

第24期 (2005～2006) 記念例会・式典案内

(開催予定日順)

カウンスル	記念例会・式典	日	時	会	場
ク ラ ブ	記念例会・式典	日	時	会	場
東 山クラブ (No.1)	20周年記念例会	2006年 5 月18日 (木)		名古屋観光ホテル	
	プログラム:	♪デキシーランドジャズを楽しもう♪			
		出演: エチソンデキシーバンド			
福 山クラブ (No.4)	20周年記念例会	2006年 6 月16日 (金)		福山ニューキャッスルホテル	
	プログラム:	午前の部 ビジネス 式典			
		午後の部 ローズディベート			
		エンターテイメント 日本歌曲			
枚 方クラブ (No.6)	10周年記念例会	2006年 7 月14日 (金)		守口ロイヤルパインズホテル	
	プログラム:	第1部 パネルフォーラム			
		テーマ「私がこんなに長く続いたITCの魅力」			
		第2部 諏訪愛子シャンソンコンサート			

※ 2006年 6 月25日 (日) に予定されていた浜松クラブ (No.1) 20周年記念例会は来期に変更となりました。



第24回日本リージョ ン年次大会ご案内

大会テーマ：“MAGMA—内なる力”

開催日：2006年7月3日（月）・4日（火）・5日（水）

場 所：パシフィコ横浜

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

大会コーディネーター 岩佐 圭子

コ・コーディネーター 岸 真智子

山内 昌子

横浜で初めて開かれます第24回日本リージョ ン年次大会に向けて、準備委員会一同重大な任務を遂行することに責任の重さを感じながら、皆様をお迎えする準備を着実に進めております。

みなとみらいのウォーターフロントに聳え立つ、帆をはらんだヨットをイメージしたインターコンチネンタルホテルと隣接する国際会議場、パシフィコ横浜が私達の会場です。

日本最古の国際港、その伝統の上に超近代的な都市づくりを展開している横浜ほど、70年の歴史を踏まえながら、未来に向けて前進し続けている I T C リージョ ン大会の舞台として相応しい所はありません。

私達の今後の発展に欠かすことの出来ない、「変化そして飛躍」と「MAGMA—内なる力」の精神を大会プログラムや大会運営に出来るだけ取り入れるように努めました。では、皆様のお越しを7月に横浜でお待ち申し上げております。

リージョ ン大会への派遣員の皆様へ

日本リージョ ン議会法規役員 イソット・アン

大会開会式に先立って7月4日午前9時からヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルの1階シルクの間において派遣員へのブリーフィングを行います。ここでは大会の事務会議に出席する各クラブ派遣員への大事な情報伝達がなされますので、各派遣員は受付で所定の登録を済ませた後、適時入室ご出席くださるようお願い致します。

派遣員の任務には、審議における討議と表決への参加、次期役員および指名委員会の選挙などがあります。提出されている案件は各自クラブで十分に討議し、クラブの意思を大会会議で伝えられるように準備しておくことは勿論ですが、大会現場の審議の過程で出された修正や討議にも柔軟に対応し判断出来るように会則や議事法の下調べもしておいて下さい。

大会の事務会合では、議事法の基本である礼儀をまもりつつリラックスして積極的な発言や活発な意見の交換を行い、出席者全員が納得のいく議事運営が進められることを願っています。

飛躍への大切な一票です

選挙委員会委員長 菊池 陽子

日本リージョン大会への派遣員の皆様へ

第24回日本リージョン年次大会は、来る2006年7月3、4、5日開催されます。

大会では、2006～2007年度日本リージョン役員並びに指名委員3名（異なるカウンスルから1名ずつ選出）の選挙が行われます。ITCのより良い飛躍を遂げるための大切な一票です。クラブで会員一人一人の意見をまとめ、その結果を派遣員の皆様は投票して下さい。

投票についてのお知らせ

1. 投票は、登録されたリージョン派遣員によって7月4日（火）の事務会議終了後、会場にて行われます。手順は、当日朝のブリーフィングで説明します。
2. 投票用紙は、選挙委員会が当日用意いたします。
3. 日本リージョン会則 第5条 選挙及び役員の任務をよく読んで出席してください。

リージョンとクラブの架け橋

派遣員資格確認委員会委員長 寺西キヌ子

派遣員の皆様は、クラブの代表者として大会に参加されます。大会には必ず「信任状」をご持参下さい。パシフィコ横浜メインホール前の受付にて登録を済ました後、4日はホテル1階シルクルーム入口前、5日はパシフィコ横浜メインホール前の派遣員資格確認デスクにお越しください。まず信任状を派遣員資格確認デスクに提示して、クラブ名のついた「たすき」を受取り着用してください。「たすき」がないと派遣員席には座ることができません。又、時間厳守をお願いいたします。

派遣員のスケジュールは下記のとおりです。当日間違いのないように行動してください。

7月4日（火）第2日目

- | | | | |
|----------------------|--------|-------|----------------|
| 1. 登録 | 8:20～ | 8:50 | パシフィコ横浜メインホール前 |
| 派遣員資格の確認 | 8:20～ | 8:50 | ホテル1階シルクルーム入口前 |
| 2. 派遣員への説明会に出席 | 9:00～ | 9:45 | ホテル1階シルクルーム |
| 3. 開会式に続き、ビジネス・選挙に出席 | 10:00～ | 12:00 | パシフィコ横浜メインホール |
- * ビジネス終了後、「たすき」を所定の場所（会場出口）に返却してください。

7月5日（水）第3日目

- | | | | |
|----------|-------|------|----------------|
| 1. 登録 | 8:20～ | 8:50 | パシフィコ横浜メインホール前 |
| 派遣員資格の確認 | 8:20～ | 8:50 | パシフィコ横浜メインホール前 |
- * 派遣員資格確認デスクの場所は4日とは異なります。
- | | | | |
|------------|-------|-------|---------------|
| 2. ビジネスに出席 | 9:00～ | 10:00 | パシフィコ横浜メインホール |
|------------|-------|-------|---------------|
- * ビジネス終了後、「たすき」を所定の場所（会場出口）に返却してください。

お知らせ

日本リージョン次期会長 石本美知子

従来どおりの CMT TPP RMT

1. CMT (Council Management Training) カウンシル運営研修会

7月3日(月)	11:30~12:00	受付	カンヌ・ニース前
	12:00~13:00	昼食	ホテル3階 カンヌ・ニース
	13:00~14:30	C M T	カンヌ・ニース

次年度のカウンシル役員・常任委員長を対象とした研修です。

事項を正確に引き継ぎ、それぞれの任務を明確にすることに重点をおきます。

*上記運営研修会の出席予定者には、後日詳細をお知らせいたします。

2. TPP (Training Power Pack) トレーニング パワー パック

7月3日(月)	14:30~16:00	TPP (Phase1)	ホテル3階 カンヌ・ニース
---------	-------------	--------------	---------------

年次大会公式訪問者、Terrie Baxter による研修です。

CMTに参加予定の役員、委員長以外の方、どなたでも参加できますので皆さん是非ご出席ください。

3. RMT (Region Management Training) リージョン運営研修会

7月5日(水)	16:30~18:30	評価・RMT	ホテル30階 メイフェア
---------	-------------	--------	--------------

公式訪問者による大会評価と次期リージョン役員のための研修です。

新しく増えた研修会

4. 「国際関連事務手続き」についての研修会

7月3日(月)	11:30~12:00	受付	カンヌ・ニース前
	12:00~13:00	昼食	ホテル3階 モナコ
	13:00~14:30	国際関連事務手続き研修会	モナコ

事務局担当者によって行われる、初の、クラブ会計又はIT使用可能な担当者を対象とした「国際関連事務手続き」についての研修会で、CMTとは開催場所は異なりますが、時間帯は同じで、同時進行で行います。

*上記研修会の申し込みは、後日各クラブにご案内いたします。

特別に行われるワークショップ

5. Wilna Wilkinson 直前 I T C 会長によるワークショップ

7月3日(月)	16:10~16:40	ワークショップ	カンヌ・ニース
---------	-------------	---------	---------

昨年のTPPの時間帯に実践されたようなワークショップを実践して下さるとのことです。

通訳付きです。何方でもご参加ください。詳しくは、役員会便りNo.10でお知らせします。

変化する大会プログラム

プログラム・教育委員長 佐山 昌子

「波と風と光」が織り成す未来都市 横浜にて開催されます第24回年次大会が近づいてまいりました。教育セッションは、2つの主要「講演」と、1つのワークショップです。

<講演>

7月4日 講師 C.W.ニコル氏

7月5日 ITC国際名誉会員 高円宮妃久子殿下

<国際役員によるワークショップ>

3名の国際役員による「全員参加のワークショップ」では、「教育」における色々なスタイルの学習法をテーマにして、3名のリーダーが同時に壇上とフロアーにおいて迫力有るワークショップを展開して下さい。会員の皆様と共に考え、共に意見を交換し合ひましょう。この際ブースを使う同時通訳ではなく、会員による逐次通訳で行います。未だかつてない会場全員参加のワークショップが、どのように繰り広げられるのかお楽しみ下さい。

<移動の必要がないプログラム・教育>

7月4日、5日、両日ともビジネス等がおこなわれます「1階メインホール」にて、すべてのプログラムが開かれ、他の部屋に移動することなく、そのままの席でご参加頂けます。

<スピーチコンテストの開催日にご注意！>

7月4日(火) スピーチコンテスト 日本語の部

7月5日(水) 妃殿下とご一緒に聞くスピーチコンテスト 英語の部

なお7月4日のニコル氏講演と日本語のスピーチコンテストの時間帯のみ一般公開となります。多数の皆様のご出席をお待ち申し上げます。

ITC 日本リージョン大会での表彰のご案内

会員委員長 大野三恵子

日本リージョン年次大会二日目、7月5日(水) 15:05より下記の表彰を行います。

1. 20年以上継続して会員数30名以上を保持しているクラブ
2. 会員数30名以上のクラブ
3. 20年継続会員
4. 30年継続会員
5. 40年45年継続会員
6. 今期最も多く新入会員を紹介した会員

以上の表彰者をリージョン大会冊子に掲載の為、既に該当するクラブ会員委員長から各カウンスル第2副会長を通じて報告されています

TARGET 20/20 国際広報委員長に申請の為

今期、会員が20%増加したクラブ

会員20名を達成したクラブ

以上、今期中に該当するクラブ会員委員長は各カウンスル第2副会長を通じて6月10日までに
ご報告ください。2007年のブリスベン世界大会での表彰対象となります。

「資格認証委員会からも表彰を！」

資格認証委員長 片山 一子

今期は、資格認証最多取得クラブを年次大会で表彰する予定です。

大会準備委員会便り

<受付委員会> 委員長 山田 久子

- ・大会への参加はパスカード形式ですので必ず登録の上ご参加ください。
- ・登録受付の時間と場所は下記の表の通りです。下記時間帯以外はクローズさせていただきます。
登録受付（派遣員）

7月4日（火）	8：20～8：50	パシフィコ横浜 受付（1階）、一般と同じ
7月5日（水）	8：20～8：50	〃

登録受付（一般）

7月4日（火）	8：30～9：45	パシフィコ横浜 受付（1階）
	12：00～13：00	〃
	18：00～18：30	ホテル 晚餐会場入口（3階）
7月5日（水）	8：30～9：00	パシフィコ横浜 受付（1階）
	11：30～12：30	〃

- ・当日欠席者の登録は各クラブ派遣員が責任を持って行い、キットを欠席者にお渡し下さい。
- ・「カウンスル運営研修会」と「国際関連事務手続き研修会」にご出席の会員は、3日（月）11:30～12:00 にホテル3階CMT受付で登録し、キットを受け取り、その上で当日の受付を済ませて下さい。

<宿泊委員会> 委員長 白垣 駿一

- ・ホテルチェックインとチェックアウトの時間と場所は下記の表の通りです。
- ・7月4日と5日は、パシフィコ横浜 受付横に特設クロークを設けましたのでご利用ください。

7月3日（月）	チェックイン	14：00～	CMT出席者：CMT会場入口（3階） 一般会員：ホテル・フロント（2階）
	クローク		ホテル 常設クローク（3階）
7月4日（火）	チェックイン	15：00～	パシフィコ横浜（1階） 受付横 特設デスク
	クローク	8：00～18：00	パシフィコ横浜（1階） 受付横 特設クローク
7月5日（水）	チェックアウト	～11：00	ホテル・フロント（2階）
	クローク	8：00～17：00	パシフィコ横浜（1階） 受付横 特設クローク

<食事委員会> 委員長 藤原 雅子

- ・「大会パスカード」が食事券となります。
- ・何回も試食会を重ね、慎重に吟味した食事をご用意して皆様をお迎えいたします。
- ・今年の晩餐会はビュッフェスタイルです。ホテル総料理長自慢の料理の数々をご堪能ください。さすが横浜と言いたくなるおしゃれな料理や何種類ものデザートは特にお勧めです。テーブル席もたくさんご用意いたしましたので、お疲れの際はお仲間とお寛ぎ頂けます。みなとみらいの夜景をバックに多くの方々との出会いと語らいをお楽しみいただけることと思えます。

<キット委員会> 委員長 金澤 佐恵

- ・受付で登録者の登録情報が入力された「大会パスカード」をお渡しいたします。
- ・昼食、晩餐会の登録欄に色がついています。
- ・パスカードは会期中の入場チケットになりますので、忘れずに必ず携帯してください。

<儀典委員会> 委員長 小林 令

- ・大会開会式では例年通りカウンスルとクラブ会長の入場行進を行います。行進手順の詳細は、各クラブ会長に所属カウンスル会長を通じて事前にお知らせ致しますが、会長が欠席の場合は必ず代理を立て、代理の氏名を入場行進担当委員の渡辺圭子（Eメール：read-music@nifty.com FAX：047-346-2450）へ6月20日迄にお知らせください。
- ・ビジネスあるいはその他の場面のステージ上およびフロアの指定席については各関係者に直接送付お知らせいたします。
- ・今期の晩餐会はビュッフェスタイルですので例年のような席の指定はありません。各自自由に移動して出来るだけ沢山の会員と交流する機会となることを期待しています。

<名札・リボン委員会> 委員長 三枝 道子

- ・名札は各自でお持ち下さい。
- ・役職のリボンはキットと共に受付でお渡しいたします。
- ・大会終了後、役職リボンは定められた場所に必ずお返し下さい。

<写真委員会> 委員長 増井美恵子

- ・晩餐会は立食なのでテーブル写真はございませんが、スナップ写真を撮ります。
- ・すべての記録写真をCDにして各カウンスルにお渡し致します。カウンスルから、希望に応じて各クラブへ配布して頂くこととなります。

<観光・インフォメーション委員会> 委員長 海瀬 静

- ・観光・インフォメーションは、パシフィコ横浜1階受付カウンターの隣です。
- ・パンフレットや地図などを用意してお待ちしております。みなとみらい周辺、中華街、山手洋館めぐり等の観光にご利用ください。

<エンターテインメント委員会> 委員長 澤登 芙蓉

～竹が奏でる音はまさに澄み切った生命の音～

インダ・プトゥリは、インドネシアの竹楽器アングルン（angklung）でクラシックを創造する世界で唯一のアングルン演奏家ユニットとして国内外で多くの演奏活動を行っています。晩餐会では、是非その温かく幻想的な音を、インターコンチの夜景とともに楽しみください。

パワートーク I T C

国際役員会が奨励し、今期日本リージョン役員会の短期目標の一つである「パワートーク I T C の活用」の実践と普及のため、各地でワークショップを実行してこられました泉和子 FITC に、寄稿をお願いしました。

— 研修の旅をおえて —

FITC 泉 和子

パワートークとの交わり

「パワートーク」という言葉は世の中にごまんと出回っていますが、私が2003年～2005年度の I T C の国際役員会に席を置いていた時、パワートークのワークショップを受けるため1日早くロンドンへ到着するようにとの I T C 会長からのお達しに、何ごとが起るのかと、おっかなびっくり、恐る々々出かけて行きました。日もとっぷり暮れる頃、ヒースロー空港に降り立ち、ウイルナ会長のお城のようなご自宅で一夜を明かした翌日の朝8時から、パワートーク I T C の作者、ローナ シェルダンのワークショップが始まった時、英語が母国語でないの、やれ時差ボケだのと言っている暇は無く、何か知らないけれど、これはやらなければならないと覚悟を決めて、その席に臨んだのが、私がパワートーク I T C と交わるきっかけでした。話には聞いていたローナのめまぐるしい、精力的な動作と頭の回転の早さに、私は圧倒されてしまいました。

FITC の資格を得て

その頃からボルチモアで開催される世界大会で、FITC のテストを受けるよう勧められ、何を勉強して良いのか解らないけれど勉強したのが、このパワートークでした。独自で勉強をして（独学という？）テストを受けたのですが、大昔の大学の受験勉強とは少し様子が違いましたが、受験と言うものに必死になったことは、今も昔も変わりませんでした。

パワートーク I T C の普及

こうして始まった私の FITC としての仕事は、国際役員会の代理を務め、教育を正しい方向へ導くことですので、早速日本リージョンで未だ眠っているパワートーク I T C の普及に努めることに精を出そうと考え、たまたまリージョン会長であることを良いことに、今期の短期目標に「パワートーク I T C の普及」を謳いました。

このパワートーク I T C の普及の為には、私は次の目標を定めました。

- ・パワートークの基本部分をやさしく説明すること
- ・教本の内容がやさしく、解りきっていることばかりだからパワートークは勉強しないと言う会員を、パワートークにひきつけること
- ・頭の中で解っていることでも、実践は難しいことを理解してもらう
- ・パワートークを通して、これからますます必要となるプレゼンテーションを研修する
- ・基本を教え、その応用がクラブでできるよう指導する

パワートーク行脚の旅

リージョン役員会の協力を得て、教育研究委員会に手伝って頂いて、全国5箇所パワートーク I T C のワークショップを実施しました。上記の目標を持って、全てを実践した平均2時間のワークショップの実施は、リーダーも参加者も、かなり精力を使いました。

研修方法は

- ・コンピュータでパワーポイントを使って「動き」をいれました。
- ・なるべく自分の言葉を使って説明しました。
- ・「目」と「耳」と「口」を使うことを目的としました。即ちパワーポイントの動きを目で追い、リーダーの説明の声を耳から聞き、名指されたら迷わず口を開いて答えるのです。これがプレゼンテーションです。簡単そうですが、同時にこの3つを使うのは難しいことです。

研修内容から

- ・トレーニングの基本 ・イメージ ・初対面で良い印象を与える3つの訓練
- ・コミュニケーションの為の絶対不可欠条件 ・Visual 55%、Vocal 38%、Verbal 7%
- ・感じのよい、最初の行動 ・感じよく見せる身体的イメージ ・ボディランゲージとは
- ・効果的な声の使い方 ・HI HI HI、HA HA HA、HO HO HO (???)
- ・良いコミュニケーションを取る8つのテクニック
- ・なぜ、私達は話しをするのでしょうか ・白い木蓮

これらの内容を一目見ただけでは、おそらく理解がつかないでしょう。でも先日のワークショップの実践の場にいらっしゃった会員ならどんな事を研修したか覚えておられることでしょう。それが目と耳と口による実践効果です。

研修後、リーダーから見た感想

- ・実際に実践してみると、容易いようで、それでいて結構プレゼンテーションが難しそうな場面に出会いました。と言う事は、会員は何度もこの種の講演などは耳から聴いていたり、ハンドアウトは持っていたりも、実践の勉強が足りないように思えます。
- ・表現力が身に付いている会員とそうでない会員との差がありました。

リーダーから、一般的に望むこと

- ・言葉を丁寧に使え、言葉の TPO を考えましょう。
- ・相手を慮る気持ちを持って、会話を育てることに、神経を使いましょう。
- ・読んだり書いたりすることは、話す力の訓練になり、会話力を養います。

奈良、名古屋、大分、福山そして京都とコンピュータを持ち歩いて、ワークショップを実行した、今期のパワートーク ITC の研修の成果が、少しは皆様のお役に立っていただければ嬉しく思います。又、機会があれば、今度は相当高度なパワートーク ITC をご一緒に、実践してみましょ。



**感動を伝え合う言葉の表現
30秒でできる第一印象**

相手に好印象を与える。感動を伝える。会話をする。ナショナル・トレーニング。イン・コミュニケーション。大分クラブの例会が1月21日、アイネスで行われた。ITCは38年アメリカで設立された国際的な教育機関の興味は30秒以上長続きしない。その第一印象がイメージが出来上がってしまう。自己紹介する時には名前を何度か繰り返して聞かせる。反応を返してもらえな。問いかけ。を加える。無料。問い合わせは広報担当の佐伯尚子さんに97・558・8666。

大分クラブは毎月第3上曜日(15時半から)アイネスで「スピーチコンテスト」を行う。スピーチや会議の進め方・評価の仕方などが学べる。無料。問い合わせは広報担当の佐伯尚子さんに97・558・8666。

ITC大分クラブの例会

Monthly Community Press JOSEI OITA 2月号に掲載された大分クラブ例会でのワークショップ



リージョン役員会から下記の資料が寄せられました。

「第24期全クラブで実施されたプログラムのジャンル分け」(概略)

日本リージョン内の全クラブで実施されている年間プログラムを収集して、それらを下記のジャンルに分け、今期のプログラムの傾向を探ってみました。来期のクラブのプログラム作成の参考になればと考え、一覧表にしてお目にかけます。

文責：第24期日本リージョン役員会

ジャンル	内 容	数
指 導 力 の 養 成	ワークショップ	58
コミュニケーション技術 (伝える & 自己啓発)	スピーチ (含即興・即席・スピーチコンテスト等)	262
	朗 読	31
	パワートーク	35
	評 価	28
	ブックレビュー、ブックレポート	25
	アサーショントレーニング	4
	聴 く	講 演
討 論 (ディスカッション)	バズセッション	16
	パネルディスカッション	11
	ディベート	32
	ブレインストーミング	3
	プロ&コン	6
	そ の 他 (ラウンドテーブルディスカッション)	14
組 織 運 営	議 事 法	11
	会 則	9
	儀 典	6
エンターテインメント	野外例会 (アウトティング・持ち出し例会等)	68
	クリスマス例会、新年例会、役員就任式、記念例会	60
	観劇、映画鑑賞等	24
そ の 他	詩・俳句を楽しむ等	51

集計 796 第24期日本リージョン教育研究委員会

編集後記

第24期リージョン会報第3号をお届けいたします。
「変化そして飛躍」をテーマに活動するリージョンの現状、年次大会に関する重要な情報を満載して企画編集いたしました。次号は大会のハイライトをお届けする予定です。ご期待ください。

ご意見、ご助言等は下記メンバーまで。

編集者：加藤啓子

スタッフ：若林裕子 小田和子 高城良子

I T C日本リージョン会報 Vol.24/No.3
編集・発行：第24期 I T C日本リージョン
印刷：上野タイプ印刷(株)



ITC Pledge

ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々国際トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2005—2006

ITC 日本リージョン 声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC 日本リージョンの使命は、ITC の目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.